

地域名(北白川)

幹事氏名 堀内寛昭

地域研修会開催報告書

| | | | |
|-------|--|--|--|
| 開催年月日 | 平成28年6月21日 10時30分～11時40分 | | |
| 開催会場 | 北白川小学校体育館 (作品展示会:ふれあいサロン) | | |
| 出席者 | 保護司名 | 奥田美智子 隠塚 功 佐藤恭子 堀内寛昭 | |
| | 関係団体名とその人数 | 北白川保護司4 松ヶ崎保護司1 左京地区更女2 北白川地区更女4 少年補導委員3 北白川各町連絡協議会2 PTA9 おやじの会1 北白川児童館1 同志社中・高校職員(事務長)1 地域一般3 小学校児童 326 小学校職員 25 | |
| テーマ | 「震災で消えた小さな命展」 講演:「人も動物も同じ大切な命」 | | |
| 研修内容 | <p><企画経緯> 「絵本作家の“うさ”氏の講演会を北白川で開催していただけないか」という地域の方からの依頼があり、“うさ”氏ご本人から「震災で消えた小さな命ーペット同伴避難」のお話を伺った。北白川ではこれまで小規模の講演会を開催してきたが、今回は小学校とのコラボレーションを図り、児童を主対象として企画した。</p> <p><講師> 講演会 絵本作家 うさ氏 プロフィール:愛知県犬山市出身。上京後、俳優業・詩・芝居脚本・演出などを経験しながら絵を描き続ける。2003年、初めて描いた『ひとやすみ』が絵本コンテストにて大賞を受賞。それがきっかけとなって絵本を描くようになる。 2011年東日本大震災のあと、「震災で消えた小さな命展」の開催を決意。講演を通して「ペット同伴避難」の必要性を訴えている。 現在、千葉県在住。日本児童出版美術家連盟会員。</p> <p><内容> 命は人も動物も同じ価値であるということ、震災で死んでいったペットたちの実話によって子供達にたいへんわかりやすくお話しされた。 自著の絵本を画像に映しながら読み聞かせるという手法によって、子供達が集中して耳を傾け、心の奥底までその内容が沁み込んでいくの感じることができた。 避難所にペットを入れてもらえない現状を打破したいのではなく、「まずはこういった現状を知ってほしい、そして何かできることがないかを少しでもいいから考えていただきたい」というメッセージでしめくられた。 報道は、京都新聞(別紙記事参照)及びNHK 京都放送局が取材に来場。 講演の直後、児童が感想文を書き、これを地域回覧「北白川だより7・8月号」で広報された(別紙参照)。</p> <p><所感> 後日、聴講した地域の代表者から、「絶対に無理、できるはずがない」「ペットが蛇やワニだったらどうするのか」といった否定的な意見が挙がった。 一般的にもこういった意見が多いと思われるが、どうやればペット受け入れが可能になるかを少しだけ考えてほしい、というメッセージを聞き取ることができなかったようである。しかし、子供達の感想文を読めば子供達の心にはしっかりと届いたと思える。そのことから、近未来にはペットの受け入れ態勢が整っていくことを期待したい。</p> <p>上記の通り地域研修会(ミニ集会)を開催しましたので報告します。</p> | | |
| 集會活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点啓発活動 ・ その他 | | |